



ショップフロント。ウォールナットの格子が店内と共用通路を仕切る

[Feature Article 10]

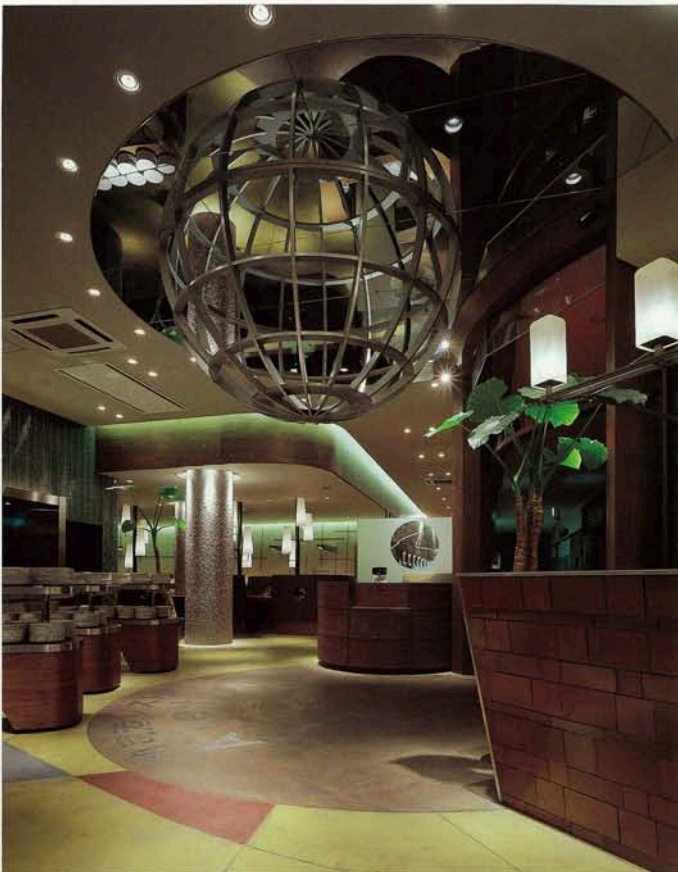
門司港レストラン アレッタ サンリブシティ小倉店

福岡県北九州市小倉南区上葛原2丁目14-1 サンリブシティ小倉1階

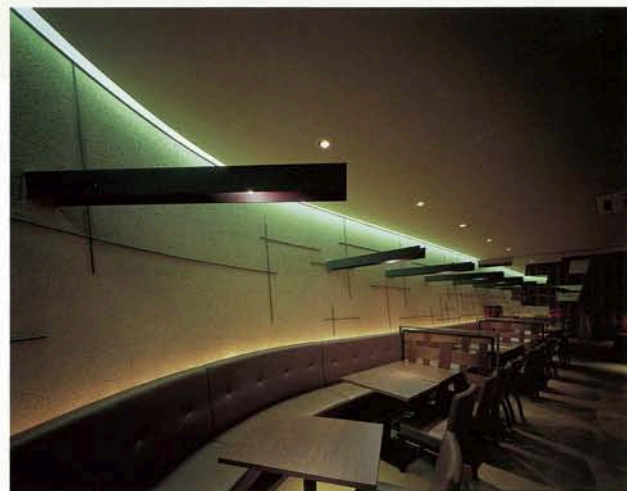
ウォールナットの格子が連続するビュッフェレストラン

設計/アトリエテンマ 長谷川 演 法邑 悟
協力/照明 イリス
施工/創技建

Buffet Restaurant
ALETTA Sunlivecity Kokura, Kitakyushu
Designer Hiromu Hasegawa
撮影/石井紀久



上/エントランスからレジカウンター方向を見る。天井には地球儀をイメージしたオブジェ。下/客席B。壁面から突き出すバーは特注照明。右頁/ランダムにミラー貼りされたパーティション越しに客席Bを見る



時が演出する世界観

「門司港レストラン アレック」の2号店となるこの店舗は、ビュッフェスタイルのレストランの中でも、世界各国の料理を出す点が大きな特徴となっている。そこで、「世界」というコンセプトを表現するために「時」というテーマを選んだ。

店内に複数の時計を配置し、世界各地の現在時刻を表示。更に店内奥には直径2mの巨大な時計を配し、「世界の中の日本」と「日本で味わう世界の料理」を強く印象付けた。また、エントランスには鏡張りの天井に地球儀を模した半球のオブジェを貼り付け、訪れる人々にグルメ旅行の始まりを予感させている。

フードコート通路と店内を仕切る約45mのパーティションは、幅の異なるウオールナットの板を格子状に組み合わせたスクリーンを並べたもの。木材の柔らかな質感と不揃いな格子のすき間は手づくり感のある表情を見せ、同時に「ほどよく隠し、ほどよく見せる」役目を果たしている。

店内はイメージの異なる三つのゾーンに分け、さまざまな素材を組み合わせたインテリアで温かみと上質感を持たせた。

見る時刻や角度によってさまざまな表情を変える店内、彩り豊かに並べられた料理の数々、テーブルを囲み、にぎやかに会話しながら食事を楽しむ人々。ゆったりとした雰囲気の中、世界を旅する豪華客船のラウンジのような優雅なひとときを感じてもらえればと思う。

(長谷川 演/アトリエテンマ)



